

エアークッションメーカー 取扱説明書

【品番】 SET-EA

この度は、KIKAIYA「エアークッションメーカー フィルムロール4本付」を
お買い上げいただき誠にありがとうございます。

* 本書を最後まで必ずお読みいただき、商品を正しく安全にご使用ください。

* 本書が必要になったとき、すぐ利用できるように大切に保管してください。



コバヤシデンソー株式会社

〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂 1415-3

(MAIL) info@kikaiya.com

■はじめに

本機を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。

本書の内容に違反すると、機械の故障や事故を引き起こす可能性があります。

注意：いつでも問題を解決できるように、本書をよく管理してください。

■調査及び修理をご依頼の前に

* 故障とお考えの前に、弊社までご相談ください。

改造により故障及び損傷した場合は修理対応できませんのでご注意ください。

* 調査を依頼される際の送料は、お客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

(製品仕様などは予告なく変更される場合があります、お届けしたお品と本書記載内容に一部相違がある場合がございます)

■開封時

開封したらすぐに中身を確認してください。

付属品の欠品、破損、初期不良等がございましたらすぐに販売店にご連絡ください。

※商品は到着しましたら7日以内に必ず開封して中身/動作をご確認ください

■注意事項

- 純正品以外の電源ケーブルを使用しないでください。
- 動作中に電源ケーブルを抜かないでください。
- 濡れた手で電源ケーブルに触れないでください。
- 可燃性、引火性、爆発性ガスがある場所では使用しないでください。
- 異常な熱、異音、焦げ臭いなどの異常を感じた場合は直ちに使用を中止してください。
- 平らでお子様の手の届かない屋内でご使用ください。
- 屋外や特に湿気の多い環境での使用を避けてください。
- 作動中に動作部分に手などを触れないでください。怪我や機械の故障の原因となります。
- 長時間使用しない場合は、電源ケーブルを抜いてください。
- お子様の手が届かない、乾燥した場所に保管してください。
- 取扱説明書以外での分解、修理、改造は行わないでください。
- 機械を分解、修理する場合は必ず電源ケーブルを外してください。

■仕様

本体重量	約 2.6kg
サイズ	430×190×200mm コード長さ 1.5M
作業力	50-150W
入力電圧	AC100-240V/2.5A、50/60Hz
出力電圧	DC12V 8A
製造速度	約 12M/分
認証	CE、RoHS、PSE
保証期間	ご購入から 12 ヶ月

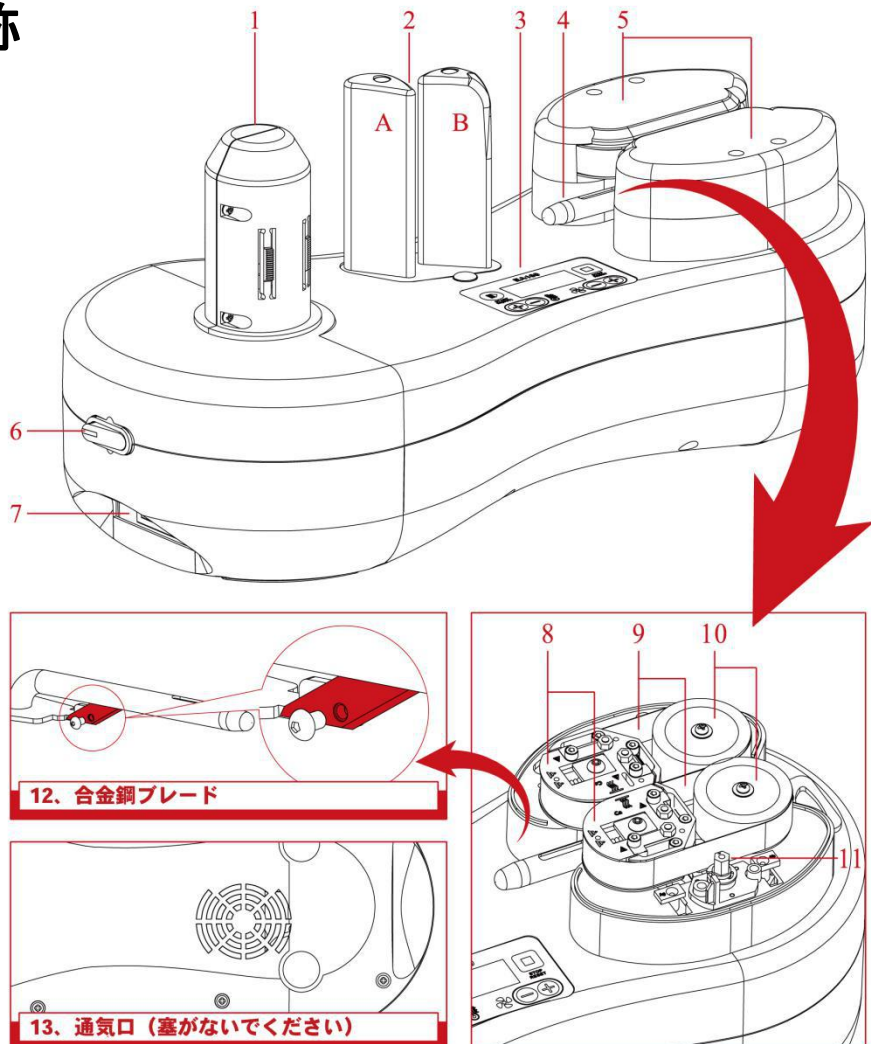


セット内容

- ・エアークッションメーカー — 1
- ・六角レンチ 2mm — 1
- ・フィルム 10×20cm 280M巻 — 4
- ・六角レンチ 2.5mm — 1
- ・高温ローラーベルト — 2
- ・レンチ — 1

■製品各部の名称

1、ロールホルダー
2、フィルムゲート A/B
3、コントロールパネル
4、エアーノズル
5、保護カバー
6、電源スイッチ
7、電源ソケット
8、発熱体
9、高温ベルト
10、コンベアホイール
11、偏心軸
12、合金鋼ブレード
13、通気口



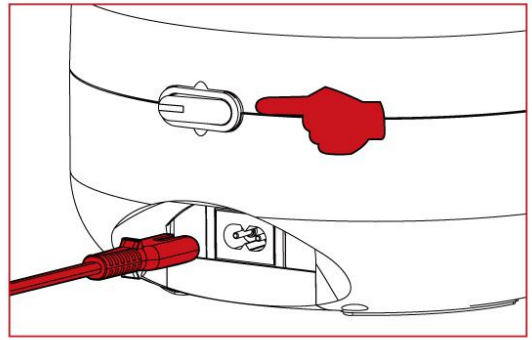
■使用方法

1. 電源スイッチを入れる

1. AC 電源ケーブルをソケットに接続します。
2. 電源スイッチをオンにします。

電源がオンになると、セルフテストが実行されます。

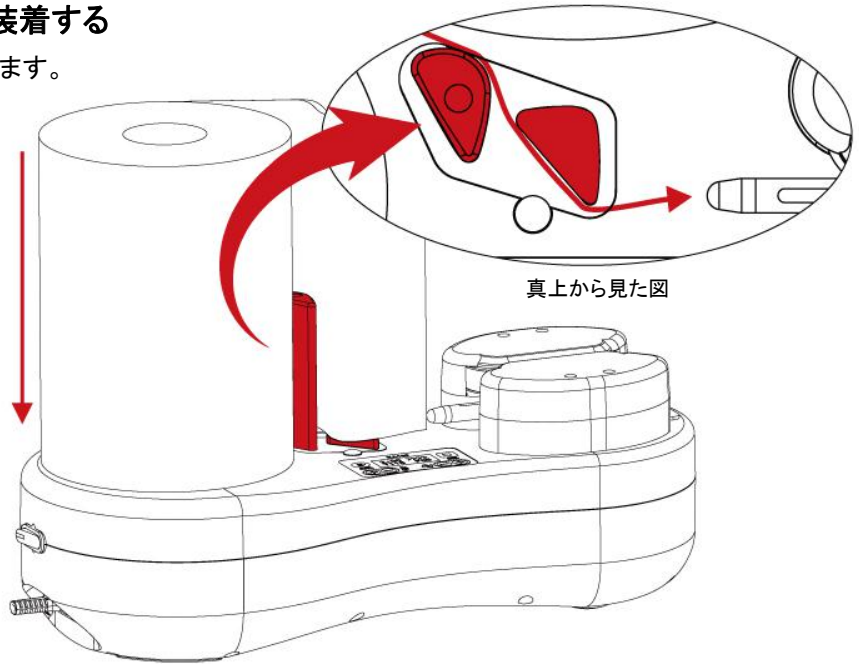
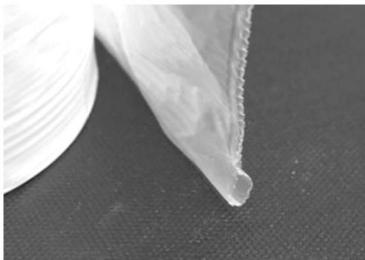
※この時点で、モーターはローラーを駆動し、動作を制限します。



2. ロールホルダーにフィルムを装着する

1. ロールフィルムをホルダーにセットします。
2. フィルムをゲートに通して
エアノズルまで引っ張ります。

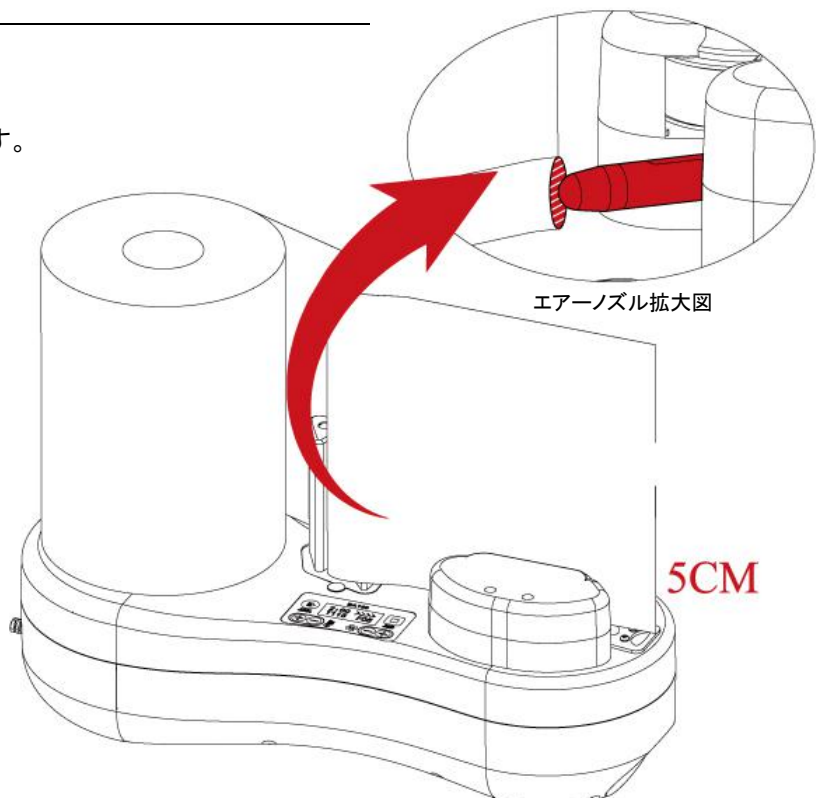
※ロールフィルムの片側に
エアノズルと接続するための
穴があります。
(フィルムが接着されていない)



真上から見た図

3. フィルムに空気を入れる

1. フィルムの穴をエアノズルに通します。
2. 「START IN(OUT)」ボタンを長押しし、
フィルムがコンベアホイールを
5cm 通過するまでフィルムを
引っ張ります。

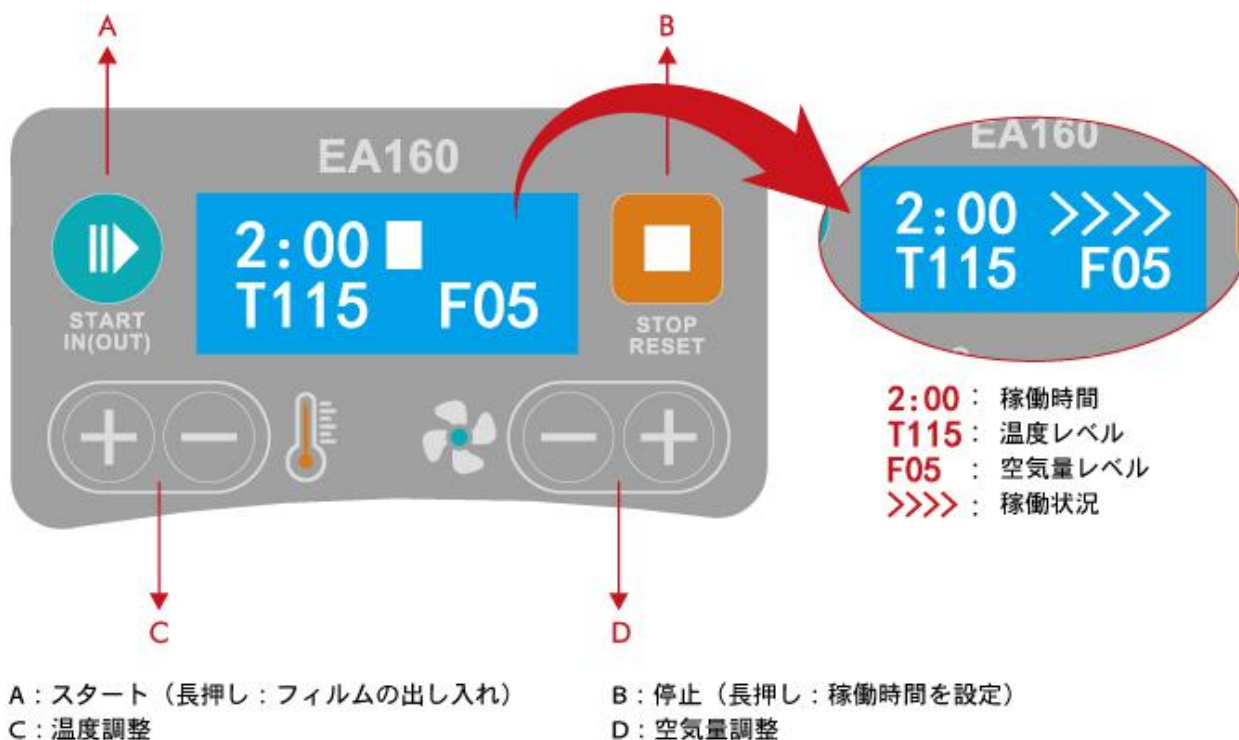


エアノズル拡大図

4. 作成開始

温度、空気量を設定し、
スタートボタンを押すと
エアークションができていきます。

■コントロールパネル操作方法



1. 稼働時間の設定

- 「STOP RESET」ボタンを長押しすると、デバイスの動作時間を設定するインターフェイスに切り替わります。
- 装置の稼働時間は1分から2時間まで設定できます。(00:01-02:00)
- 温度の「+」「-」ボタンを押すと時間を設定できます。
- 空気量の「+」「-」ボタンを押すと分を設定できます。
- もう一度「STOP RESET」ボタンを押すとデータが保存され、設定が終了します。

長時間のアイドルによる機器の故障を避けるために

長時間の空運転は機器故障の原因となります。

長時間のアイドルを避けるため、フィルムの残量から稼働時間を見積もってから作業を行ってください。

フィルムの稼働時間は280M=24分を目安としてください。(12M/分)

【スタートさせると】

- ①稼働時間を設定後、「START IN(OUT)」ボタンを押します。
このとき、動作状況の表示が「■」から「>>>>」に変わります。※稼働中の表示です
- ②設定した時間が終了すると自動的に停止します。
- ③設定した時間が終了する前にフィルムの生産を停止したい場合は、「STOP RESET」ボタンを押してください。

※「STOP RESET」ボタンを押して装置を停止した場合、残り時間はリセットされません。

※本体の電源を切ると残り時間はリセットされます。

2. 温度の調整(T=Temperature)

本品には温度センサーが内蔵されており、CPUは温度データに従ってシール温度を自動的に調整します。

一般的なフィルムの厚さは **20 μ m**で、**温度は約T115 $^{\circ}$ C**ですが、ユーザーが手動で調整する必要はありません。

- 温度はフィルムを接着する温度を指します。
- 温度設定用の「+」「-」ボタンはコントロールパネルの左側にあり、温度範囲は T80 $^{\circ}$ C～T180 $^{\circ}$ C です。
- 押すたびに温度レベルが1レベルずつ上昇または下降します。
- ボタンを長押しすると、温度レベルをすばやく上げたり下げたりすることもできます。

包装フィルムが厚い場合は 5 μ m 増加するごとに、温度レベルを約 T5 $^{\circ}$ C上げてください。

問題が発生した場合は、以下の点をご確認ください

1. フィルムの接着部分に小さな点(小さな穴)がある場合
→接着温度が高すぎます。温度(T)を1段階下げると改善します。
2. フィルム内に空気が入らない場合、空気が入っても漏れてしまう場合
→接着温度が低いため、温度(T)を1段階上げると改善します。

3. 空気量の調整(F=Fan)

- パラメータは、フィルムに入る空気量を指します。
- 空気量設定用の「+」「-」ボタンはコントロールパネルの右側にあり、設定レベルは F1～F40 まであります。
- 押すごとに空気量レベルが1レベルずつ増減します。
- ボタンを長押しすると、空気量レベルをすばやく増減することもできます。

フィルムの品番	推奨設定
(EA-F1)ピロー型 100×200mm 厚み 20 μ m	F05～10
(EA-F2)バブル型 320×400mm 厚み 20 μ m	F35～40

上表の空気量は包装フィルム厚み 20 μ m の場合です。

厚さ 20 μ m を超える包装フィルムの場合、厚さが 5 μ m 増えるごとに空気量をレベル 5 増やしてください。

※空気量が多すぎると接着部のシワが増加し、気密性に影響を与えます。

エア漏れ等のトラブルが発生する可能性があります。

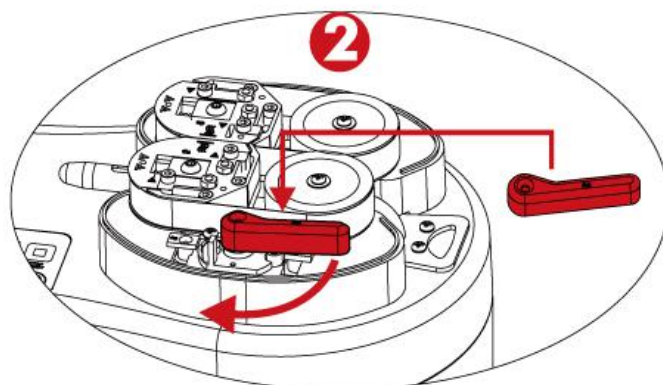
※機械の動作中に温度や空気量に変化する場合があります。

※設定した数値は保存され、電源を落としてもそのままです。

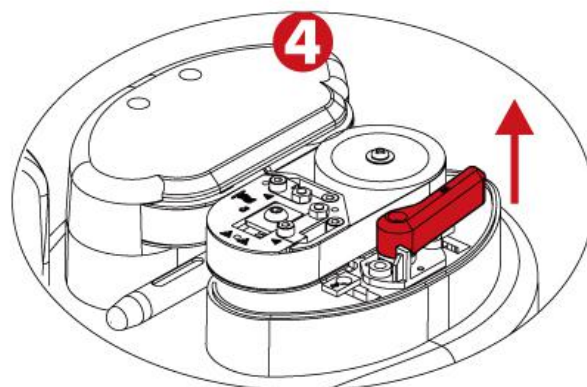
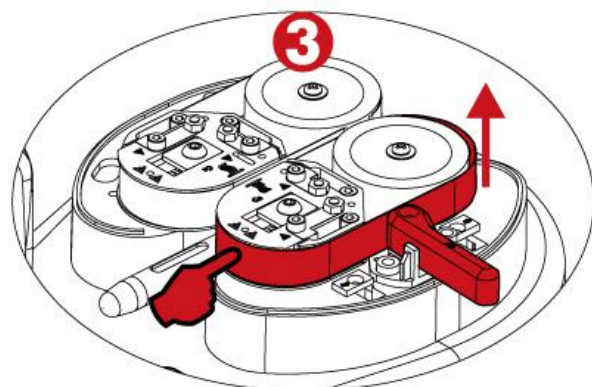
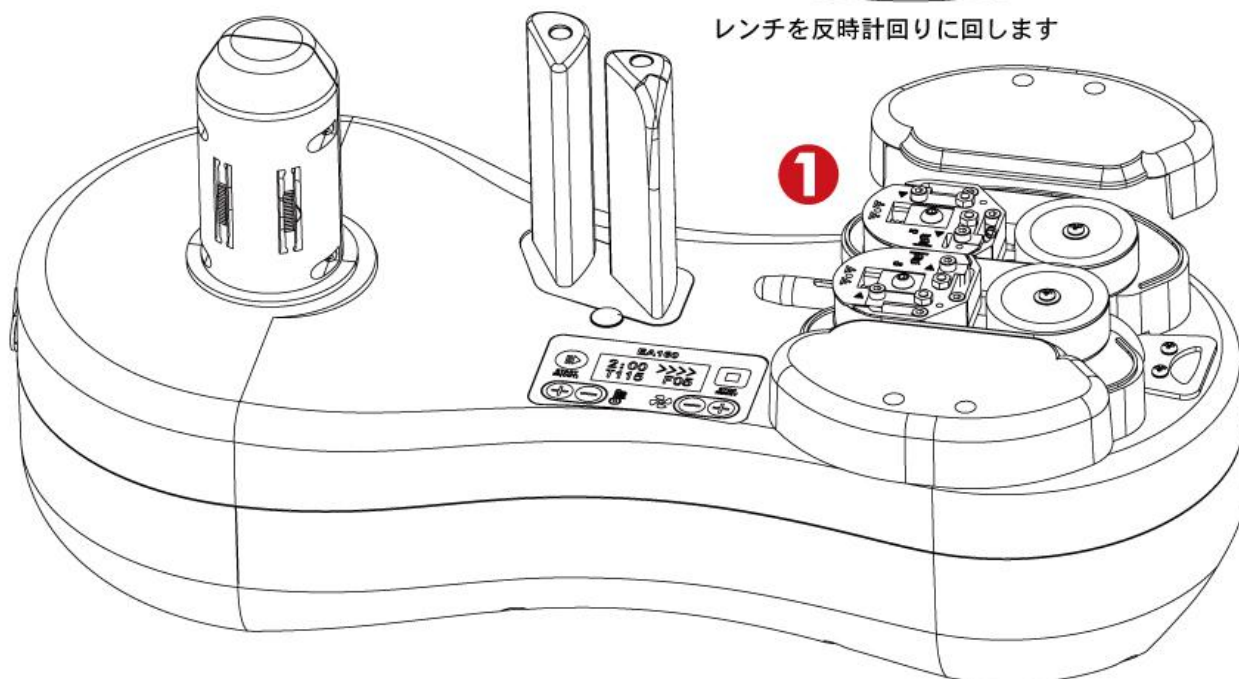
■高温ベルトの交換

フィルム接着面の溶け込みがひどい場合は、高温ベルトが破損する可能性がありますので交換してください。
(通常は 60 ロールを製造した後です。)

1. 左右の保護カバーを取り外します。
2. 偏心軸にレンチを取り付け、
レンチを時計回りに回して
2つの発熱体を分離します。
3. 発熱体を手で押し、古い高温ベルトを
取り外して新しいものと交換します。
4. レンチを元の位置に戻し、レンチを
外して左右の保護カバーを元に戻します。



レンチを反時計回りに回します



発熱体を図の方向に手で押し、高温ベルトを外します。

※ベルトの交換が完了するまでレンチはこの位置で保管し、動かさないでください。

■よくあるトラブルと解決策

まずは以下の内容をご確認ください。改善されない場合はメンテナンスをご依頼ください。

トラブル	確認事項
1.電源がオンになっても液晶パネルに表示がない	電源コードが本体に 正しく接続されているか確認してください
2.表示なしや表示エラーなど、不明なエラーが発生	電源スイッチを切って5秒ほど待ってから、 本機を再起動してください
3.エアクッションフィルムがスムーズに膨らまない	包装フィルムに合わせた 温度と空気量の調整(p.6)をご参照ください
4.エアクッションフィルムがエアノズルをブロックする	1. フィルムを再度取り付けてみてください 2. 空気量を調整してみてください 3. 必要に応じてブレードを交換してください
5.フィルムは動くが空気が入らない	エアノズルが穴から ずれていないか確認してください
6.エアノズルにフィルムが詰まる	ブレードを交換してください (お問い合わせください)
7.カットが不均一	
8.ブレードに錆が付いた	

お問い合わせ先/(MAIL) info@kikaiya.com